広報あいかわ

合川町広報
№ 169
発行日・44.5.20（2.700部）
発　行・秋田県北秋田郡
合川町役場
編集人・広報係　福岡　昭二

税金は納期限内に
固定資産税才一期
納期限は六月二日

わたくしたちの町
人口　男　5、218
　　女　5、563
　　計　10、781
4月中の転入　133　転出　300
世帯数　2.211
（4月末日調べ）

国民健康保険税

医療費の増大が響く

苦しいやりくりの国保会計

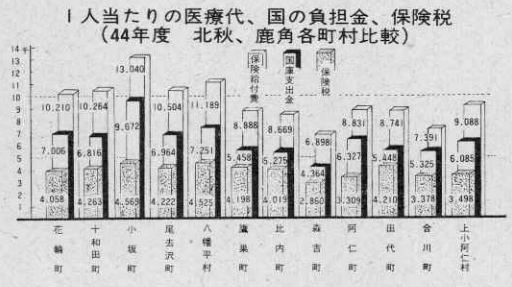
最近町民の間で国民健康保険税がものすごく高い、なぜこんなに高くしなければならないのかという声がでており、新聞やテレビ等でも保険税の著しい増税が報じられ国保財政の危機が訴えられております。

本町においても去る三月定例議会に提出された昭和四十四年度の国保特別会計予算をめぐって議会の真剣な討議が重ねられました。

本町の四十三年度の保険税は一世帯平均一万八百九十八円でありましたが、今年度は平均三千円程度引き上げて約一万四千円となります。これは昨年度より四百二十二万六千円の増税となり、保険税総額二千二百九万円になったわけです。

しかし国、県の指導では標準税額（標準税額とは医療給付費に対する国の負担額を除いた分を全部保険税でまかなうこと。しなわち本町の場合そのとおり賦課すると一世帯当たり二万円程度になる）まで引き上げするように行政の指導をうけているが、一挙に多額の増税は行政上からしても極力避けるべきであるという多数の意向や、反面当初から赤字が必至とみられる予算を策定することにも問題があるという意見もありましたがかってない程の慎重な審議を経て可決されました。

一方療養給付費は一世帯当たり四万二千円を計上しておりますが、国保事業というのは一口にいえば、国保に加入している人が病気や、ケガで医師の診療を受けたとき、その診療費が千円であったとすれば、本人は三百円を病院の窓口に支払い、七百円を町が支払いするという制度です。そして町が払う七百円のうち、四百円は国が負担し三百円は税金であてるということになっております。この内容をもっと簡単にいいかえれば診療費が千円であれば国で四百円は払ってくれるが残りの六百円の半分は税金で、あとの半分は本人が直接病院の窓口で払うということになります。



なぜ増税が必要か

○病院にかかる回数が多くなっている。

四十年では一人一年間に病院にかかる回数が四、二回だったものが四十三年度では八、六回と年々に多くなっています。

これは最近保健衛生思想が普及し病状が軽いうちから通院する人がふえたことと、七割給付制度になったため気軽に病院にかかれるようになったものと思われます。

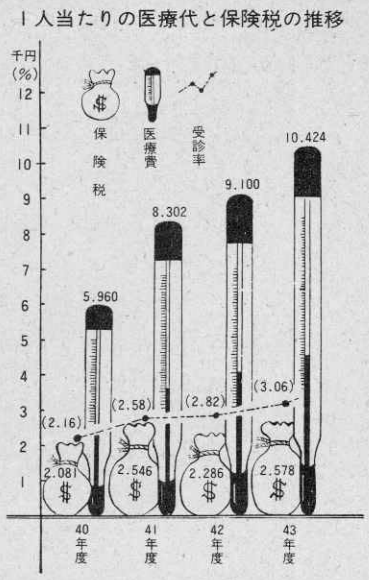
○一人当たりの医療代も高くなっている。

四十年度当時五千九百六十円であった一人当たりの医療代は四十三年度には一万四百二十四円と約二倍近くふえております。

これは最近の医学の進歩で高いけれども効果のある薬品を多く使うようになったことと、医療費が四％も上ったことなどによるものです。このように国保から各病院に払われた医療代は四十年度二千九百五十九万五千円から四十三年度五千六百八十二万六千円と大幅にふえています。

○健康な若者が町外に流出している。

健康な青少年が町外に就職するため年々町の人口が老齢化しているため、国保の被保険者の羅病率は公務員や会社員など比較的若年層のしめる割合いの多い社会保険にくらべて非常に高いわけです。このようなことが保険税を高くしなければならない要因となっているようです。



健全財政にするために

本町の昭和四十三年度国保特別会計の決算見込みは約三百二十万円の赤字が予想されておりますが、これは四十四年度繰上充用でやりくりされています。医療代が病気の流行により大きく変動するので、ことしの状況によっては、今後更に検討されなければならない事態もあり得るわけです。

国でも各町村の国保財政の実状を重視して抜本的な制度の改正に取組んでいるようですが、この危機を打開するためには、国の強力な財政援助が必要ですので、町では県内各町村と協力してあらゆる機会に国、県に対しその善処を要望しています。

秋田県は、全国的にトップクラスの病人の多い県であり、本町もその例外ではありません、今後は保健思想の普及を更に強め病気の漸減を図ってゆきたいものだと思います。

お互いに自分自身の健康管理に注意し受診率を逆に引き下げる努力も必要です。

このようなわけで本年度は大幅な保険税の増税を町民のみなさんにお願いしなければなりません、実情をよくご理解下されご協力をお願いします。

なお町では財政の健全化と町民負担の軽減のために一層の努力をいたします。

才一回臨時町議会

救護（精薄）施設の誘致等

八議案を原案どおり可決

四月三十日に招集された臨時町議会は、二日間にわたって慎重な審議が行なわれ提出議案を原案どおり可決して閉会しましたが、その主な内容はつぎのとおりです。

▽報告才一号
専決処分の報告について（原案可決）

これは昭和四十三年度の予算補正ですが、歳入歳出をそれぞれ一七〇万円を追加補正したものです。

▽議案才二八号
橋梁災害復旧事業の請負契約の承認について（原案可決）

昨年度から継続事業として行なわれていた。杉山田橋災害復旧工事の上部工請負契約の承認で、契約の方法は指名競争入札による契約、契約金額壱千八拾万円、契約者は秋田市のピーエス、コンクリートKK秋田出張所長、円生正道氏で、完工期日は昭和四十四年八月三十一日となっております。

▽議案才二九号
合川町町税条例の一部を改正する条例（原案可決）

これまで寡婦、老令者、未成年者等の非課税所得が、二千八万円であったものが三十万円に引き上げられ、また事業主の給与支払報告書の提出期限が毎年二月末日であったものを一月末日と改められ、さらに給与所得者の特別徴収の税額が、十等分されていたものを十二等分にして納入されることに改正されたものです。

▽議案才三〇号
合川町学校建設基金蓄積条例の制定について（原案可決）

この条例は町立の小、中学校の建設資金を調達するため、毎年度蓄積するために定められたものです。

▽議案才三一号
救護（精薄）施設の誘致について（原案可決）

社会福祉宣言の一環として、大野台愛生園の隣接地に、社会福祉法人、秋田県厚生協会を通じ、生活保護法による救護施設の設置を図るものです。

▽議案才三十二号
財産（土地）の取得について（原案可決）

▽議案才三十三号
財産（土地）の譲渡について（原案可決）

救護施設の誘致に必要な布地を、金沢部落の山田さんから取得し、その土地を社会福祉法人、秋田県厚生協会え無償で譲渡しようとするもの。

▽議案才三十四号
昭和四十四年度一般会計補正予算（才一号）

歳入歳出に、それぞれ四百四十九万四千円を追加したものですが、歳入では地方交付税が主もに見込まれ、歳出は教育費二百九拾九万四千円、救護施設誘致に伴う土地取得費として百五拾万円となっています。

プールの新設工事

南小は小林組、北小、佐藤組に落札

町では南小学校と北小学校にプールを新設することになり、秋田市の小畑設計事務所に設計を依頼していたが、その設計もできたので去る五月二日午前十一時から役場へ町内外の建設業者四名を招いて入札を行なった結果、南小プールは六百七拾万円で小林組に（社長小林敬治）北小プールは四百八拾七万円で佐藤組（社長佐藤庫吉）に（別に北小プール水源地及び給排水工事弐百弐拾五万円円で三光産業会に落札）それぞれ落札しました。

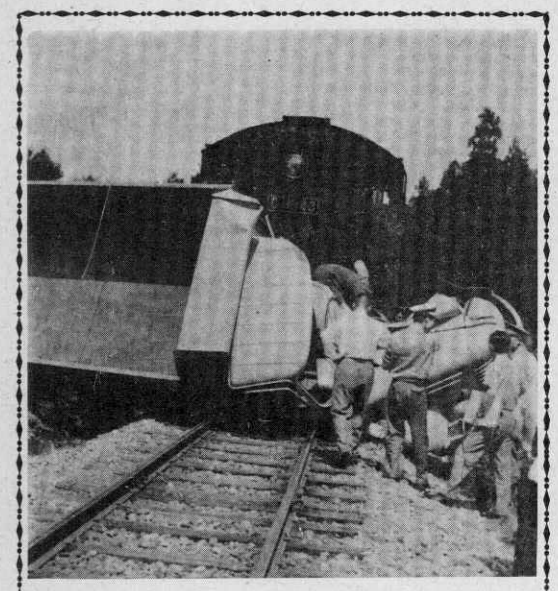
本プールは長さ二十五メートル、巾十三メートルの六コース（北小）で内部は防水タイル白セメント仕上げでそれに補助プール、洗体槽が付帯し周囲は東芝フエンスで柵をする近代的なすばらしい設計であり七月十日の竣功期限を関係者から期待されながらたれている。

人事異動

五月十日付

村形　厳丸（教委）
町議会事務局長を命ずる。

笠井　義昭（新任）
教育委員会書記を命ずる。



〝なくしよう ヨッパライ運転〟

町内の交通事故すでに四件

合川町でのことし一月から四月までに発生した交通事故は四件になっています。

殆んど毎日のように悲惨な事故は、新聞、テレビ等で報じられているように依然として交通事故による犠牲者はふえる一方です。

去る十一日から二十日までの十日間全国一斉に春の交通安全運動が行なわれましたが、

①酒飲み運転の追放
②幼児の交通事故防止
③歩行者、自転車等の安全な通行などを重点に実施されました。

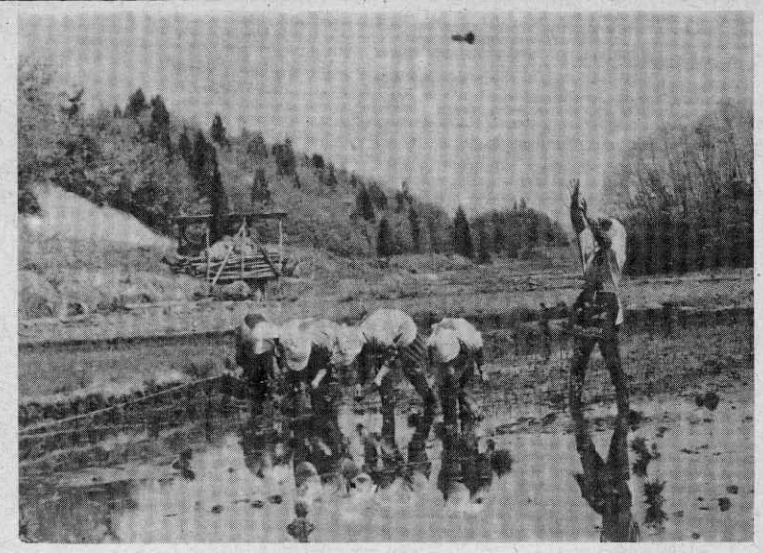
日常生活の上でもつぎのことをよく心得て、お互いの安全を守りましょう。

※酒を飲んだら車を運転しない。
※酒を飲む場所や会合には車を持っていかない。
※車を運転して来た人には、絶対に酒をすすめない。
※親がまずしっかり、こどもの監視をする。
※こどもを危険な場所で遊ばせない。
※外では、こどもの手をしっかりにぎって歩く。
※親がまず正しい交通の模範を示す。
※こどもは、社会のもの「愛のひと声」を気軽にかけてやる。
※こどもの遊び場所をみんなで作ってやる。
※歩道のある道路では歩道を、歩道のない道路では右側を通行する。
※横断は、左右を確認し、手をあげて車の停止を確かめて、さっさと渡る。
※車の蔭から道路に急に飛び出さない。
※二人乗りや傘さし運転をしない。
※こども、主婦、老人、身障者にはより注意深い運転をする。
※無理な追越しは絶対にしない。

どうなることしの米価

要求 米価　九千六百五十三円に（一俵当たり）

さわやかな五月、ことしも田植の最盛期にはいった。しかし田んぼで汗を流す農家の表情は意外に複雑だ。古米の山と自主流通米の実施で食管制度のなしくずし等、米をめぐる情勢が急激にきびしくなってきている。



5月14日摩当部落の金田文四郎さんは、田植のトップをきった

政府は総合農政という名のもとに自由米の実施、開田抑制、稲の作付転換など、矢継ぎ早の米対策を打ち出しており、それは米がくさる程あまっているからということである。町内の農業倉庫でも古米が出荷のメドが立たないまま大量に眠っているという。

つい最近まで開田を奨励し米の増産を推進してきた政府が、こうした理由をたてにことしの生産米価を据え置く方針をいち早く打ち出し、これを実現しようとしております。

過去三十年を越える長い間米不足を理由に国の統制下におかれて自分で食う米がなくとも供出を強制され、徳川時代の百姓並みに辛酸をなめてきた農家にとっては、手のひらを返すように不安な政策をとられるのは納得のゆかない、なんともやりきれないものがあるわけです。

わが町の農家所得は米の売渡しによる収入が全体の八〇%を占めており、米作り以外で農家経済を安定させることはできないようです。農民もいつまでも食管制度にあぐらをかいているものではなく、常に前向きの努力は必要ですが、国の政策が現実に適応した、そして一人の犠牲者もでない農業政策が打ち出されない限りこれまでの食管制度は堅持してもらいたいものです。

こうした中で米価審議会はその委員も決まり六月早々から本格的に開かれようとしています。その米価問題について川井部落のある農家の主人は、生産者米価が上がれば、また物価が上がるという人もいるようだが経済政策と農民の生活は別です。政府は要求米価を全額のんでほしい、むずかしい算定方式は別として、公共料金や諸物価はどんどん上がるし、ことしの春闘では私鉄大手、三公社五現業の賃上げはかってない程の高率で妥結しており米価だけ据え置かれてはあまりにもみじめだ。

われわれ農民も生活を守るため農協等が中心になって米価要求大会を開き結束してたたかい、なんとしてでも要求をかちとらなければ、農民はとり残されてしまうと熱気をはらゞながら語っていた。

土地改良区才一換地工区の換地、評価委員決まる

五ヶ年計画、総額十一億四千万円の事業費で行なわれる予定の圃場整備事業は、四換地工区に分類されており今年度着工は才一換地工区（杉山田、雪田、鎌沢、三木田、摩当、三里、芹沢）内の杉山田、雪田地区が対象になっているので、これと関連のある工区の委員を決めたものです、これは各工区組合員の推選により知事から任命されたもの。

なお、この委員の役割は非常に重要なもので、工事着工前にこの方々が中心となり土地を現況で評価したり、交換してそれぞれのたんぼの場所を決めたりするもので、今年中にその換地、評価を決める予定になっています。

◎換地委員

伊藤　昭悦　杉渕　重蔵
山岡　清助　加藤　敬一
福田　一衛　三浦　幹夫
三浦　寅助　金田　和一郎
松橋長太郎　松橋　善二郎
桜庭　吉郎　土濃塚一太郎
三浦　松蔵　鈴木　二夫
大野　永春

◎評価委員

伊東　紀喜　伊東　末松
伊東　宗雄　福田　宮松
福田　勇一　三浦　淳蔵
北林　武治　金田　雄一郎
福岡喜三郎　松橋　寅吉
土濃塚圭治　桜庭　運吉
鈴木　一郎　大野　永春
鈴木　二夫

町の話題

二十年前頃までは農耕用の馬が、私達の町にも千頭近くも飼われており、仔馬の生産もさかんであったが、いまでは耕運機に押されて全町に十頭ぐらいしかおらず、ことに仔馬の実物は北海道の牧場へでも行かなければ見られない程珍らしいものになりました、ところが昨年十月、川井部落の吉田春松さんが北海道のある牧場から買ってきたメス馬からかわいい仔馬が生まれ近所の話題になっています。

〔吉田さんと馬の親子〕

これは売主も買主も妊娠しているとは全たく知らずに取り引きされたもので、馬主の吉田さん、うれしいやら、こまったやらで当惑していますが、ちまたではいずれにしてもめでたいと言う評判がもっぱら。

必ず守りましょう!!

農作業の協定賃金を

ことしの農作業の標準賃金は、役場をはじめ農家労仂力対策協議会、町内各農協の話し合いの結果、つぎの表のように決まりました。

ことしの労賃を決めるにあたっては、労仂力不足や物価上昇などを考慮しながら、昨年より若干引き上げをしております。

1. 労働賃金（1日の労仂時間は8時間を基準とする）

田植		水田除草		稲刈		畑作業
男	女	男	女	男	女	
900	900	900	900	900	900	700

2. 動力による賃料及び料金（10a当り）

水田耕起	荒代	代かき	脱穀	コンバイン（乾燥調整まで）	バインダー	（1日当り）トレーニ
1.700	1.900	1.300	7.000	1.600		3.000

3. 上記の料金はいづれもオヤツ賄は一切ださないことを基本にしたものです
　　向止ひを得ず出す場合は料金の内で負担することです

駐在所だより

○農繁期の事故防止

農作業でいくらでも人手のほしい季節、農家の人たちにとっては猫の手も借りたい程です。例年こうした時期にはいろいろな事故、事件が起きています。

○戸締り不完全からおきる盗難事故

○水死事故

○子供の火遊びによる大火など、

田植は農家にとって大仕事ですが事故防止にも充分注意して下さい。

○暴力追放

暴力はちいさなことでも見逃がさない。

暴力を見たら、受けたらすぐ警察に届けて下さい。

恋の貝殻でデビュー

李岱出身亜里ひろみさん

合川町李岱部落出身の流行歌手がデビューする。

東芝レコードの亜里ひろみ＝本名成田まさ子さん（十九才）＝で七月一日にデビュー曲、ポップス調の「恋の貝殻」ワルツ調の「今日から一人」（作詞、円古晴巳、作曲、大沢浄二）のレコードが全国一斉に発売されることになっている。

亜里ひろみは合川マーケットでさくらや食堂を経営している成田易松さん（五二）の二女で、米内沢高校二年のとき、秋田放送「歌のグランプリショー」に出場して歌った「はたち」の歌が認められ一昨年春、同校卒業後、東京、三和芸能プロダクションにはいり、東芝専属の作曲家大沢浄二氏に師事して勉強をしてきたもの。NHK秋田放送専属の歌手伊藤要さんも、ひろみさんの将来性に大鼓版をおしており畠山町長らが中心になって後援会結成の話もでている。

現住所は東京都中野区中央四丁目七ノ二〇　三和芸能プロダクション内。

5月9日の西小をトップに10日南小、11日北小、13日東小といずれも絶好の運動会日和に恵まれて、町内各小学校の運動会は終りました。

児童数が年々減少して行くためチョッピリさびしさも感じられるが、それなりに先生方のプログラム編成にも工夫がこらされ、親と子と、孫とおじいちゃんなど家族ぐるみで楽しめる内容のものなど、田植を間近かに控えた父兄たちもこの日ばかりは、子供達と一諸になって楽しんだ。

◎ありがとう

善意のご寄付

故人の香典返しにかえて尊い浄財のご寄付をいただきました。町の社会福祉事業の基金に繰り入れのうえ有効に役立たせることにいたしました。紙上を通じて厚くお礼申し上げます。

（町社会福祉協議会）

○木村　芳夫氏（李岱）

兄清造さんの香典返しにかえて金三万円也

庁内スポット

佐藤　隆雄　37才

現在総務課で消防と交通安全を担当している。いずれも住民の福祉につながる仕事で、特に交通安全対策には熱意をもっており警察、交通安全協会等関係機関との連絡、打合せ、町民へのPRや相談事などに情熱を注いでいる。会う人ごとに、年々激増する自動車に比して道路の整備が追いい付かないので地域から悲さんな事故をなくするにはなんといっても住民一人一人が真剣になって考え注意を怠たらないことが一番大切と力説するあたり、目下この仕事に精こんを傾けていることがうかがえる。

旅館を経営している両親とおくさん二女、一男の七人暮し

（趣味　ドライブ、釣り）

畠山　錠悦　31才

昭和三十二年県立米内沢高校卒業後、東京の木材問屋、旧下大野農協、合川営林署と多さいな職場を経験し三十八年十一月町立病院に勤務、以来、いわゆるこの道一筋庶務係として、また患者送迎用のジープを運転したり病院を訪れる患者さんをこまやかにいたわり医療のサービス向上に努めている。実直で人からものを頼まれても絶対いやとはいわない性格で通称（錠さん）と言う愛称で同僚からも頼りにされている。

家庭には両親とおくさん、それに長男と二男の六人暮し、

なお、おくさんを大切にすることでは庁内随一との定評がある。（趣味　釣り、野球、マージャン）